



大分大学総務部総務課広報係
870-1192 大分市大字旦野原 700
TEL:097-554-7376 FAX:097-554-7413
MAIL:koho@oita-u.ac.jp

PRESS RELEASE (2025/04/28)

県政記者クラブ各社 殿

国立大学法人大分大学

第2回未来のワクワク科学研究への一歩～高崎山自然動物園で ニホンザルの観察からの発見～について（お知らせ）

大分大学教育マネジメント機構 STEAM 教育推進センターでは、昨年度に引き続き「第2回未来のワクワク科学研究への一歩～高崎山自然動物園でニホンザルの観察からの発見～」を開催します。

本イベントは、中・高生を対象とした STEAM 教育として実施するもので、高崎山のニホンザルの生態を楽しく観察して、研究成果をポスターにまとめ、ポスターセッションに挑戦することを通して、互いの興味・関心を科学的な視点から伝え合うことを目的としています。

活動全体において、高校在学中にニホンザルの調査経験がある本学学生2名を含む大学生3名の支援も受けながら、参加者は、充実した科学研究体験を得ることが出来ます。

今回は、2日間（Aコース）、1日間（Bコース）の2コースを実施します。

報道各社におかれましては、取材につきましてご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 : 令和7年（2025年）5月10日（土）・5月11日（日）
9:30～16:30（受付9:15～）
2. 場 所 : 高崎山自然動物園おさる館3F研修室
3. 内 容 : Aコース: 5月10日（土）・5月11日（日）両日
・1日目: サルの観察・調査テーマ設定・調査等
・2日目: ポスター作成・ポスター発表
Bコース: 5月10日（土）のみ
・サルの観察・調査テーマ設定・調査等

4. 対 象 : 大分県内の中学生・高校生 先着12名

※取材申込について

- ・取材にお越しくださる場合は、下記問合せ先へご連絡ください。

（問合せ先）

大分大学教育マネジメント機構 STEAM 教育推進センター
准教授 甲斐 耕司 kai-kouji@oita-u.ac.jp

中・高生を対象としたSTEAM教育

第2回

未来の ワクワク 科学研究への一歩

参加費
無料

高崎山自然動物園で
ニホンザルの観察からの発見

サルの生活を
よ〜く
観察しよう!

科学的な
調査に挑戦!

自分で調査テーマを
決めよう

自分のテーマに応じた
調査をしよう

観察力

調査した
データを
整理してみよう

分析力

思考力

ポスターを
作って発表
しよう

まとめる力

プレゼン力

高崎山のサルの生態を楽しく観察して、研究成果をポスターにまとめ、ポスターセッション(発表)に挑戦し、互いの興味・関心を科学的な視点から伝え合いましょう。

大学生(大分大学
医学部等)のサ
ポートがあるから
話しやすいよ

日時

2025年

5/10(土)・11(日)

9:30~16:30(受付9:15~) ※小雨決行

集合場所 高崎山自然動物園おさる館 3F 研修室

選べる2コース

推奨 Aコース(2日間)

ポスター作成でまとめる力が身につき、ポスター発表でコミュニケーションの力が身につく

Bコース

(5/10のみ)
サルの観察と
講義をします

対象

大分県内の中学生・高校生
先着12名(二つのコースを合わせて12名)

場所

高崎山自然動物園 ※駐車場は有料です。
〒870-0802 大分市神崎3098-1

申し込み期間

5/7(水)まで ※募集人数に達し次第、締切といたします。

講師

大分市高崎山管理委員会委員
大分市文化財保護審議会委員(天然記念物)
日本爬虫両生類学会所属
大分生物談話会所属、自然観察指導員

渡邊 ひろ美 先生

元大分県公立高等学校教員、理数科や科学部において12年間にわたり高崎山のサルをテーマとした探究活動の指導を行い、全国高等学校総合文化祭自然科学部門での計8回の入賞へと導いている。

未来のワクワク
科学研究への一歩
参加申し込み▶



問い合わせ先

大分大学 教育マネジメント機構
STEAM教育推進センター 甲斐
steam-center@oita-u.ac.jp

スケジュール

1日目

9:15~ 受付
9:30~10:10 開会・講義
10:20~12:15 サルの観察・調査体験等
12:15~13:00 昼食(持参)
13:00~16:30 サルの観察・調査
講義(まとめと2日目の説明)

2日目

9:15~ 受付
9:30~12:15 ポスター作成
12:15~13:00 昼食(持参)
13:00~16:00 ポスター発表練習
ポスターセッション
講義(まとめ等)-閉会

・安全確保のため、サル寄せ場での観察は、途中休憩を挟みながら午前、午後とも2時間程度は立ったままで行います。
・荒天時は、別メニューでの探究活動からポスター作成と発表、さらに、サルの観察や探究活動についての講義を行います。